

第21回伝統の舞 番楽フェスティバル

皆さんは「番楽」をご存じでしょうか。「番楽」とは秋田と山形の一部に伝わる神楽の一種で、約350年以上前に山伏が伝えたものとされています。県内にこの「番楽」が6つ残されていますが、真室川町には今も平枝・釜淵・八敷代の3地区に残されており、大変貴重な伝承文化です。

この「番楽」を広く町内外の方々に知ってもらおうと、11月3日(日)、ふるさと伝承館を会場に『第21回伝統の舞 番楽フェスティバル』が開催されました。今年も町内3団体のほか、本海獅子舞番楽天池講中(由利本荘市)と柳原番楽(金山町)からも出演いただきました。今年は初心に帰り、本来の番楽の力強さや迫力をより身近で感じてもらうと、第1回目が開催されたふるさと伝承館での開催となりました。出演いただいた各団体とも限られた時間の中ではありますが、これまで受け継いできた歴史や伝統を惜しげもなく舞に込めて披露していただき、来場した方々も舞の重厚さを感じるとともに、舞手の息遣いや足さばき、囃子や歌い手の声を間近で感じることができ、満足していたようでした。

真室川町にはこの「番楽」だけでなく、昔話や童歌、囃子など多くの伝承文化が残されています。この伝承文化を受け継いでいくためにも、地域一体となった取り組みが必要です。機会をみて、見ていただくことも取り組みの一つです。12月8日(日)には、伝承文化を受け継ぐ子どもたちの発表である『第11回ふるさと子ども伝承祭』が中央公民館で開催されます。ぜひ、みなさんも来て伝承文化を体験してみませんか。



三番叟(八敷代番楽)



先舞(平枝番楽)



獅子舞(釜淵番楽)

第35回 真室川町小中合同音楽祭

今年度で35回を迎える真室川町小中合同音楽祭が、11月1日(金)に真室川町中央公民館を会場に開催されました。今年は真室川高等学校吹奏楽部をゲストに迎え、各校が日頃の練習の成果を力いっぱい披露しました。

各校ではアコーディオンやピアノ等の楽器演奏や、歌を体全体で表現した振り付けなど、それぞれ特色のある発表を行ったほか、真室川中学校では例年3年生がクラス単位で合唱を行っていますが、今年は3年生全クラス75名が一緒になりホールに響き渡る自信にあふれる合唱を行いました。

最後は、今年も「翼をください」を児童生徒、保護者等みんなで歌い、まさに会場が一体となった大合唱でフィナーレを迎えました。



～体全体で音楽を表現「WAになっておどろう」(あさひ小)～

時間

10時

11時15分

場所

中央公民館
2階研修室

●申込み締切り: 12月10日(火)
●中央公民館 ☎62-2305